

氏名	村 上 昌 弘
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 1816 号
学位授与の日付	平成10年9月30日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学（一）専攻 （学位規則第4条第1項該当）
学位論文題目	Expression of the α_1 and α_2 Chains of Type IV Collagen in the Infarct Zone of Rat Myocardial Infarction （ラット心筋梗塞の梗塞部におけるIV型コラーゲン α_1 鎖 および α_2 鎖の発現）
論文審査委員	教授 大江 透 教授 菅 弘之 教授 佐野 俊二

学位論文内容の要旨

我々はラットの心筋梗塞モデルを用い梗塞後治癒過程におけるIV型コラーゲン α_1 、 α_2 、 α_3 、 α_5 鎖の発現および、新生ラット心の培養線維芽細胞における虚血刺激による各鎖の発現誘導について検討した。ラット心筋梗塞モデルにおいて、 α_1 (IV)、 α_2 (IV) mRNAは梗塞後24時間で梗塞辺縁部の心筋細胞間の線維芽細胞に発現し、その後時間の経過とともに梗塞中心部に向かって分布の進展を認めた。またノーザンブロット法にて梗塞後の α_1 (IV)、 α_2 (IV) mRNAの増加を認めたが、 α_3 (IV)、 α_5 (IV)の増加は認めなかった。特異的なモノクローナル抗体を用いた免疫組織化学にても梗塞部における α_1 (IV)、 α_2 (IV)鎖の波状の染色を認め、その発現は基底膜域に局限するものではなかった。新生ラット心の線維芽細胞を虚血条件で培養し虚血刺激後に α_1 (IV)、 α_2 (IV) mRNAの発現が亢進することを確認した。

これらの結果からラット心筋梗塞モデルにおいて梗塞後に梗塞域の線維芽細胞における α_1 (IV)、 α_2 (IV)鎖の発現が亢進し、梗塞の治癒過程に何らかの役割を果たすことに加え、その発現刺激因子として虚血の関与が示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究はラット心筋梗塞モデルを用い梗塞後治癒過程におけるIV型コラーゲンの発現を検討したものであるが、従来十分確立されていなかった梗塞後治癒過程におけるIV型コラーゲン α_1 、 α_2 の発現様式の関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。